

平成30年3月22日
東部農林振興センター 松江農業普及部

標題 園芸で売上増！トロ箱ミニトマト作付延面積を1.3～1.6倍に増やす方法

(ダイジェスト)

本年3月上旬から、玉湯町の農事組合法人が、初めて5月～6月に収穫するトロ箱ミニトマト栽培に取り組んでいます。平成31年度からの管内における普及拡大に向け実験中です。

(県農業技術センター野菜科が開発した)トロ箱養液栽培は、管内で25a程度普及しています。そのうち17aは農事組合法人による(水稻育苗終了後のハウス)ミニトマト栽培で利用されています。

この法人も、過去8年間水稻育苗後にトロ箱を設置し、6月～7月に苗を植え付け、8月下旬～翌年1月にかけて収穫する作型を継続してきました。

昨年、水稻部門で育苗費用・田植え作業労力の削減を目的に、10a当たり使用する苗箱数を5～6箱(慣行の約1/3)に少なくできる「高密度播種移植栽培」(密播)に取り組んでいるため、水稻育苗に必要なハウス面積も減りました。

そこで、農産物販売額の増加を目的に、今年から水稻育苗に使わないハウスの周年利用を目指し、全3棟6aの内、1棟2aで、半促成栽培(3月：定植、収穫：5～6月)に取り組んでいます。

普及部では農事組合法人の後継者育成に向け、費用の削減、売上の増加につながる提案を継続していきます。なお、平成30年度からキャベツ栽培面積も1ha増やし、1.7haとする予定です。



(図1 過去8年間のハウス利用)

作物名	3月			4月			5月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下
水稻育苗	← 利用期間 →								

作物名	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月								
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
ミニトマト	準備			植え付け			← 利用期間 →			収穫開始			← 利用期間 →			← 利用期間 →			← 利用期間 →			← 利用期間 →			← 利用期間 →			← 利用期間 →			← 利用期間 →		
				△																													

(図2 今後のハウス利用)

作物名	3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
ミニトマト	← 利用期間 →			← 利用期間 →			← 利用期間 →			← 利用期間 →			← 利用期間 →			← 利用期間 →			← 利用期間 →			← 利用期間 →			← 利用期間 →			← 利用期間 →			← 利用期間 →			← 利用期間 →		
	△			△			△			△			△			△			△			△			△			△			△			△		